

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

JCS79 U.S. PRO
10/086697
03/04/02

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年11月 2日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-337420

[ST.10/C]:

[JP2001-337420]

出 願 人

Applicant(s):

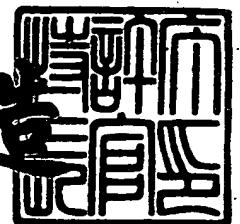
富士通株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2002年 1月18日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2002-3000016

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Akitaka Shinohara, et al.

Application No.: TBA

Group Art Unit: TBA

Filed: March 4, 2002

Examiner: TBA



For: ELECTRONIC COMMERCE TRANSACTION METHOD, PROGRAM, RECORDING
MEDIUM AND SERVER

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a
certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-337420

Filed: November 2, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing
date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of
35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: March 4, 2002

By: John C. Garvey

John C. Garvey
Registration No. 28,607

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

【書類名】 特許願

【整理番号】 0151902

【提出日】 平成13年11月 2日

【あて先】 特許庁長官殿

【発明の名称】 電子商取引方法、プログラム、記録媒体及びサーバ

【請求項の数】 5

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 篠原 彰考

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 戸賀瀬 郁子

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100079359

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 竹内 進

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 009287

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9704823

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子商取引方法、プログラム、記録媒体及びサーバ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

契約会員である企業又は個人の購入者がマーケットプレイスに参加して商品購入の商取引を依頼した依頼を受付ける依頼受付ステップと、

前記マーケットプレイスで購入希望商品が得られない場合、仲介契約を行っている他のマーケットプレイスに前記購入者に信用保証を付して前記商品購入の商取引を依頼する仲介ステップと、

を備えたことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 2】

請求項 1 記載の電子商取引方法に於いて、前記仲介ステップは、自己のマーケットプレイスにおける購入者の購買履歴に基づいて信用調査を行い、所定の評価基準を満たす場合に、信用保証情報と共に前記商品購入の商取引を他のマーケットプレイスに依頼することを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 3】

電子商取引を行うマーケットプレイスのコンピュータに、

契約会員である企業又は個人の購入者がマーケットプレイスに参加して依頼した商品購入の商取引を受付ける依頼受付ステップと、

自己のマーケットプレイスで購入希望商品が得られない場合、仲介契約を行っている他のマーケットプレイスに前記購入者に信用保証を付して前記商品購入の商取引を依頼する仲介ステップと、

を実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 4】

電子商取引を行うマーケットプレイスのコンピュータに、

契約会員である企業又は個人の購入者がマーケットプレイスに参加して依頼した商品購入の商取引を受付ける依頼受付ステップと、

自己のマーケットプレイスで購入希望商品が得られない場合、仲介契約を行っている他のマーケットプレイスに前記購入者に信用保証を付して前記商品購入の商取引を依頼する仲介ステップと、

を実行させるプログラムを格納したコンピュータ読取可能な記録媒体。

【請求項 5】

電子商取引用サーバに於いて、

契約会員である企業又は個人の購入者がマーケットプレイスに参加して依頼した商品購入の商取引を受付ける依頼受付部と、

自己のマーケットプレイスで購入希望商品が得られない場合、仲介契約を行っている他のマーケットプレイスに前記購入者に信用保証を付して前記商品購入の商取引を依頼する仲介処理部と、

を備えたことを特徴とする電子商取引用サーバ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、マーケットプレイスに会員登録した企業又は個人の購入者により商品購入を行う電子商取引方法、プログラム、記録媒体及びサーバに関し、特に会員登録しているマーケットプレイスで商品がみつからなかった場合に会員登録していない別のマーケットプレイスからの商品購入を可能とする電子商取引方法、プログラム、記録媒体及びサーバに関する。

【0002】

【従来技術】

現在、インターネット上で電子商取引が行われている商品購入のためのマーケ

ットプレイスは、不払いなどのリスクを避けるため、利用者となる企業又は個人に対して信用調査や与信調査などを行い、会員として登録した後に利用させるようになっている。

【 0 0 0 3 】

マーケットプレイスの利用は、端末装置を使用して会員登録しているサーバ上のマーケットプレイスに利用者がアクセスし、会員登録で発行されたIDとパスワードを入力することで会員認証を取得してマーケットプレイスに参加する。

【 0 0 0 4 】

商品の購入は、マーケットプレイスの商品検索ページを開いて購入を希望する商品のカテゴリ、商品名、メーカー名等を入力して商品検索を依頼し、この検索結果に基づいて希望する購入商品と必要数を決めて見積をとり、見積回答が購入条件に合えば注文を行って商品を受け取ることになる。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来のマーケットプレイスに参加して行う電子商取引にあっては、会員登録しているマーケットプレイスで希望する購入商品が取り扱われていなかった場合、その商品を扱っていると思われる別のマーケットプレイスを調べ、改めてそのマーケットプレイスに対し会員登録の手続きを行って参加する必要がある、商品購入に手間と時間がかかる問題がある。

【 0 0 0 6 】

また複数のマーケットプレイスに会員登録して利用している場合でも、あるマーケットプレイスで購入希望商品が見つからなかった場合、別の会員登録しているマーケットプレイスを調べるためには、別のマーケットプレイスにログインしなおさなければならず、この場合も手間と時間がかかる。

【 0 0 0 7 】

本発明は、会員登録しているマーケットプレイスで商品が見つからない場合、簡単に会員未登録のマーケットプレイスであっても利用可能とする仕組みをもった電子商取引方法、プログラム、記録媒体及びサーバを提供することを目的とす

る。

【0008】

【課題を解決するための手段】

図1は本発明の原理説明図である。本発明は、電子商取引方法を提供する。この電子商取引方法は、

契約会員である企業又は個人の購入者がマーケットプレイスAに参加して商品購入の商取引を依頼する依頼ステップと、

マーケットプレイスAで購入希望商品が得られない場合、仲介契約を行っている他のマーケットプレイスBに購入者に信用保証を付して商品購入の商取引を依頼する仲介ステップと、

を備えたことを特徴とする。

【0009】

このように本発明では、会員登録しているマーケットプレイスで商品が見つからなかった場合、そのマーケットプレイスが利用者の購買や支払状況の購買履歴などをもとに自会員を保証し、仲介契約を予め行っている他のマーケットプレイスに対し購入者が未登録の会員であっても、信用保証を付して商品の検索、見積、注文といった一連の商取引を仲介し、会員登録していない複数のマーケットプレイスとの電子商取引を可能とする。

【0010】

ここで仲介ステップは、自己のマーケットプレイスにおける購入者の購買履歴に基づいて信用調査を行い、所定の評価基準を満たす場合に、信用保証情報と共に商品購入の商取引を他のマーケットプレイスに依頼する。

【0011】

仲介ステップは、例えば自己のマーケットプレイスにおける購入者の発注キャンセル数、発注内容変更回数、良品返品回数、支払遅延回数を含む複数の項目に基づいて評価を行って信用保証の有無を決定する。

【0012】

仲介ステップは、ポイントによる与信評価として、購入者の各評価項目に評価

基準を設定し、評価基準を満たした場合にプラスポイントを付加し、評価基準を満たさなかった場合にマイナスポイントを付加し、各項目の合計ポイントに基づいて信用保証の有無を決定する。

【0013】

仲介ステップは、他のマーケットプレイスに商取引を依頼した場合、購入者与其他のマーケットプレイスの間で行われる購入商品の見積と回答、注文と出荷を含む取引情報を自己のマーケットプレイスとの商取引として購買者に見せる。これにより購買者は、他のマーケットプレイスとの商取引を意識することなく利用できる。

【0014】

仲介ステップは、他のマーケットプレイスに依頼した商取引が成立して完了した場合、購入者に対し自己のマーケットプレイスを支払先とする請求を行い、商取引が成立した他のマーケットプレイスに対しては所定の期間単位で購入代金から仲介費用を差し引いた代金を清算する。

【0015】

仲介ステップは、他のマーケットプレイスに依頼した商取引が成立して完了した場合、購入者に対し他のマーケットプレイスを支払先とする請求を行い、商取引が成立した他のマーケットプレイスに対し仲介費用を請求するようにしても良い。

【0016】

仲介ステップは、他のマーケットプレイスに仲介した商取引の購入者が不正取引を行った場合、他のマーケットプレイスに対し購買者の情報を開示する。

【0017】

本発明は、電子商取引のプログラムを提供する。このプログラムは電子商取引を行うマーケットプレイスのコンピュータに、

契約会員である企業又は個人の購入者がマーケットプレイスに参加して依頼した商品購入の商取引を受付ける依頼受付ステップと、

自己のマーケットプレイスで購入希望商品が得られない場合、仲介契約を行っている他のマーケットプレイスに前記購入者に信用保証を付して前記商品購入の

商取引を依頼する仲介ステップと、
を実行させることを特徴とする。

【 0 0 1 8 】

本発明は、電子商取引のプログラムを格納したコンピュータ読取可能な記録媒体を提供する。この記録媒体は、電子商取引を行うマーケットプレイスのコンピュータに、

契約会員である企業又は個人の購入者がマーケットプレイス A に参加して依頼した商品購入の商取引を受付ける依頼受付ステップと、

自己のマーケットプレイス A で購入希望商品が得られない場合、仲介契約を行っている他のマーケットプレイス B に購入者に信用保証を付して前記商品購入の商取引を依頼する仲介ステップと、
を実行させる。

【 0 0 1 9 】

更には本発明は電子商取引用のサーバ 1 0 を提供する。このサーバ 1 0 は、契約会員である企業又は個人の購入者がマーケットプレイス A に参加して依頼した商品購入の商取引を受付ける依頼受付部と、自己のマーケットプレイス A で購入希望商品が得られない場合、仲介契約を行っている他のマーケットプレイス B に購入者に信用保証を付して前記商品購入の商取引を依頼する仲介処理部とを備えたことを特徴とする。

【 0 0 2 0 】

なお、プログラム、記録媒体及びサーバの詳細は、電子商取引方法の場合と同様になる。

【 0 0 2 1 】

【発明の実施の形態】

図 2 は本発明が適用されるマーケットプレイスを対象とした電子商取引システムの説明図である。

【 0 0 2 2 】

図 2 において、本発明の電子商取引システムは、電子商取引を行うマーケット

プレイスAを構築するサーバ10と、サーバ10に構築されたマーケットプレイスAに参加して電子商取引を行う会員契約を行った企業または個人の購入者クライアント12で構成される。

【0023】

サーバ10には、マーケットプレイスAに参加して購入者クライアント12側からの注文を実際に受け付ける販売企業が備えている販売企業マシン18が、ネットワーク16を介して接続される。このようにサーバ10、購入者クライアント12及び販売企業マシン18によって、1つの独立したマーケットプレイスAの電子商取引システムが構築されている。

【0024】

更に本発明にあっては、サーバ10に構築されたマーケットプレイスAに対し他のマーケットプレイスB、C、Dのサーバ14を、ネットワーク16を介して接続している。

【0025】

サーバ10のマーケットプレイスAに会員登録をしている購入者クライアント12は、サーバ14側のマーケットプレイスB～Dについては会員登録を行っていない。外部のマーケットプレイスのサーバ14についても、それぞれのマーケットプレイスにおける注文を実際に処理するための販売企業マシン20が、ネットワーク16を介して同様に接続されている。

【0026】

本発明の電子商取引システムにあっては、会員登録により参加しているサーバ10のマーケットプレイスAに購入者であるクライアント12が参加して商品を購入する場合、サーバ10のマーケットプレイスAで希望に合った商品が見つからなかった場合、あるいは希望する購入条件に合った商品が見つからなかった場合に、サーバ10において購入者の購買実績や支払状況などの履歴などに基づいて「保証・与信」を行い、他のマーケットプレイスB～Dのサーバ14に対し、購入者が未登録の会員であっても自己のマーケットプレイスAの会員契約を持つ購入者の検索、見積、注目などの電子商取引を仲介する。

【0027】

このため、サーバ10に構築されているマーケットプレイスAと会員契約している購入者は、他のマーケットプレイスB～Dと会員登録を行わなくとも、サーバ10のマーケットプレイスAを経由して他のマーケットプレイスB～Dとの商取引を行うことができる。

【0028】

このように会員契約をしているサーバ10のマーケットプレイスAを経由して会員登録をしていない他のマーケットプレイスB～Dとの電子商取引を可能とするため、本発明の電子商取引システムにあっては、図3に示すようなマーケットプレイス間での契約関係が事前に行われている。

【0029】

図3は、マーケットプレイスAと会員契約11-1を行っている企業または個人の購入者11において、購入者11が会員契約を行っていない他のマーケットプレイスB、C、Dとの取引を可能とするため、マーケットプレイスAとマーケットプレイスB、C、Dの間でそれぞれ自分の会員の商取引を仲介して相互乗り入れを行うための仲介契約11-2、11-3、11-4を行っている。

【0030】

これによってマーケットプレイスAとそれ以外のマーケットプレイスB、C、D間のそれぞれで自会員の他のマーケットプレイスに対する商取引を可能とする関係を作り出している。

【0031】

ここでマーケットプレイスAと購入者11が会員契約11-1を結ぶ際には、購入者11からの会員登録の申込みに対しマーケットプレイスA側で外部の専門機関に会員希望者についての信用調査による与信を委託し、与信が付与された会員希望者について会員契約11-1を締結して、マーケットプレイスAの会員として参加できるようにしている。

【0032】

そして、マーケットプレイス間の仲介契約11-2、11-3、11-4の存在により、購入者11は、マーケットプレイスAと会員契約11-1を結ぶだけで仲介契約先のマーケットプレイスB、C、Dについては会員登録を行うことな

くマーケットプレイスAを経由して取引を行うことができ、従って、マーケットプレイスB、C、Dにおいては、会員契約11-1に必要な外部の専門機関に委託した信用調査による与信が不要となる。

【0033】

購入者11は、もしマーケットプレイスAで希望する商品が見つからなかったり希望する購入条件に合わなかった場合には、他のマーケットプレイスB、C、Dを特に意識することなく、実際にはマーケットプレイスB、C、Dに対する仲介依頼のもとにマーケットプレイスAより希望に合った商品を見つけたり希望に合った購入条件を得ることができる。

【0034】

このようなマーケットプレイス間の仲介取引を可能とするため、図2のサーバ10にあっては、見積依頼制御部22、購買評価システム24、見積依頼データ生成部36、データ送受信部38の機能を持たせている。ここで見積依頼制御部22は依頼受付部として機能し、また購買評価システム24、見積依頼データ生成部36及びデータ送受信部38は仲介処理部として機能することになる。

【0035】

サーバ10の見積依頼制御部22に対する見積依頼情報として、購入者クライアント12側には購入者基礎情報40と商品情報42が設けられる。購入者クライアント12は見積依頼の際には、この見積依頼情報を作成し、ネットワーク16を介してサーバ10に見積依頼情報を送り、見積依頼制御部22に購入者基礎情報40及び商品情報42をファイルさせる。

【0036】

この見積依頼制御部22で購入者クライアント12からの見積依頼情報を受信すると、まず自分のマーケットプレイスにネットワーク16を介して接続している販売企業マシン18を対象に、商品検索、見積処理を行う。この商品検索と見積処理により購入者が希望する商品が見つからなかった場合には、他のマーケットプレイスのサーバ14側に対する仲介処理が起動する。仲介処理は、まず購買評価システム24で購入者に関する保証・与信情報を作成する。

【0037】

購買評価システム 2 4 には、購買評価データ生成部 2 5、購買評価部 2 6 及び保証・与信データ生成部 2 8 が設けられている。また購買評価に必要なデータファイルとして外部の購買実績ファイル 3 0 が接続され、また内部的には評価実績ファイル 3 2 と評価基準ファイル 3 4 を使用する。

【 0 0 3 8 】

本発明の購買評価システム 2 4 は、購買実績として例えば発注キャンセル回数、発注内容変更回数、良品返品回数、支払遅延回数などの購買評価データを生成し、各評価項目ごとに評価基準として評価ポイントを設定し、全ての評価項目についての評価ポイントを合計したポイント数により評価ランクを決めて、保証・与信データを生成する。

【 0 0 3 9 】

例えば購買評価データ生成部 2 5 は、購買実績ファイル 3 0 から発注キャンセル回数を購買評価データとして生成し、購買評価部 2 6 で評価基準ファイル 3 4 から読み出したキャンセル回数の増加に応じてプラスからマイナスに変化するポイント数を求める。

【 0 0 4 0 】

このような購買評価データの生成と評価基準による評価ポイントの生成を、それ以外の発注内容変更回数、良品返品回数、支払遅延回数などについても行い、各評価項目のポイント数の合計を求め、ポイント数がプラス側に高いほど評価ランクも高くし、ポイント数がマイナス側に増加すれば評価ランクを低くし、これによって保証・与信データ生成部 2 8 で保証・与信情報 4 4 を生成する。

【 0 0 4 1 】

見積依頼データ生成部 3 6 は、購買評価システム 2 4 で生成された保証・与信情報 4 4 を、見積依頼制御部 2 2 で受け付けている購入者クライアント 1 2 からの購入者基礎情報 4 0 及び商品情報 4 2 に付加し、データ送受信部 3 8 を介して他のマーケットプレイスのサーバ 1 4 に送信して処理を依頼する。

【 0 0 4 2 】

この場合、サーバ 1 0 のマーケットプレイス A にあっては、他のマーケットプレイス B ～ D のサーバ 1 4 が図示のように複数ある場合には、各マーケットプレ

イスごとにカテゴリや特有の得意商品などを認識していることから、最適と思われるマーケットプレイスのサーバ14に対し見積依頼データ生成部36より保証付きの見積依頼データを送信する。

【0043】

図4は図2のマーケットプレイスを対象とした本発明の電子商取引における商品の見積依頼から注文を経て最終的に納品に対する支払を行うまでの一連の手順を時系列的に示している。

【0044】

図4において、サーバ10のマーケットプレイスAに会員登録している企業または個人となる購入者クライアント12は、パーソナルコンピュータ12-1などを使用しサーバ10にアクセスすることでマーケットプレイスAに参加し、見積依頼を行う。

【0045】

図5は、この購入者クライアント12からの見積依頼に使用する商品検索・商品見積依頼画面108の説明図である。この商品検索・商品見積依頼画面にあっては、画面中段に商品検索部110が設けられており、カテゴリ、商品名、販売企業名、メーカー名、商品番号を購入者が入力する。この例ではカテゴリに「M Oディスク」を入力している。

【0046】

この図5のような商品検索・商品見積依頼画面108を使用して購入者クライアント12からサーバ10に見積依頼50を行う。見積依頼50は、まずサーバ10に購入者データおよび見積データが含まれているより構築されているマーケットプレイスA内での商品検索と見積を行うが、ここでは希望する商品が見つからなかったとすると、購買評価システム24が起動する。

【0047】

購買評価システム24は、購買実績ファイル30及び評価実績ファイル32を用いて購入者の購買評価52を行い、購買評価52に基づいて保証・与信発行54を行い、保証付き見積依頼データ56をサーバ14に構築されている他の例えばマーケットプレイスBに送信する。

【 0 0 4 8 】

保証付き見積依頼データ 5 6 を受信したマーケットプレイス B のサーバ 1 4 にあっては、保証・与信内容確認 4 6 を行った後、自分に接続している販売企業を対象に商品検索と見積を行い、見積回答 4 8 をサーバ 1 0 に送信する。この見積回答 4 8 はサーバ 1 0 を経由して購入者クライアント 1 2 に送信される。

【 0 0 4 9 】

この見積回答 4 8 は、サーバ 1 0 のマーケットプレイス A の情報として集約されて購入者クライアント 1 2 に送られることから、購入者クライアント 1 2 側でサーバ 1 4 に構築されている他のマーケットプレイス B による見積回答を意識することはない。

【 0 0 5 0 】

具体的には、図 5 の商品検索・商品見積依頼画面 1 0 8 のように、商品検索部 1 1 0 の下側に検索結果 1 1 2 として、サーバ 1 0 からの仲介依頼を受けてサーバ 1 4 のマーケットプレイスで検索された検索結果が表示される。

【 0 0 5 1 】

ここで検索結果 1 1 2 は、商品検索部 1 1 0 に依頼したカテゴリ「MO ディスク」に対応した商品の検索結果を列挙しているが、もし希望商品が見つからない場合には類似商品のリストを表示することになる。類似商品としては、例えば商品検索のカテゴリが「MO ディスク 6 4 0 MB」のように容量として 6 4 0 MB を指定したような場合には、容量の異なる例えば 2 3 0 MB や 5 4 0 MB の MO ディスクを類似商品の検索結果として表示するようになる。

【 0 0 5 2 】

また図 5 の検索結果 1 1 2 にあっては、商品一覧を表示しているが、同時に価格情報を見たり具体的な見積をボタンのクリック操作で行うことができる。

【 0 0 5 3 】

再び図 4 を参照するに、購入者クライアント 1 2 で見積回答 4 8 が得られたならば、これに基づき注文 5 8 を行くと、注文データ 6 0 がサーバ 1 0 を経由して、見積回答 4 8 を行ったマーケットプレイス B のサーバ 1 4 に送られて、受注 6 2 となる。

【0054】

そして受注62に基づき出荷64が行われ、出荷64に基づきサーバ10に納品情報66が送られ、これが購入者クライアント12に対する納品情報の通知68となる。この注文58に対する出荷64の通知に対し、購入者クライアント12で検収70が行われ、検収70の結果は検収データ72としてサーバ10の購買実績ファイル30に記録される。

【0055】

例えば購入者クライアント12側で注文58を行った後にキャンセルしたり、納品を受けた後に返品したような場合については、それぞれの結果を示す検収データ72が購買実績ファイル30に反映される。

【0056】

正常に商品の受取りが済むと、仲介先であるサーバ14より請求74がサーバ10に送られ、サーバ10を経由して購入者クライアント12に送られる。この請求74を受けて購入者クライアント12は、予め定めた支払条件に従って支払76を実行し、これに基づきサーバ10が入金情報78を受ける。

【0057】

この実施形態にあつては、購入者クライアント12の支払いをサーバ10のマーケットプレイスAで入金し、仲介手数料を差引いた金額を仲介先のサーバ14のマーケットプレイスBに支払って入金情報80として伝える処理を行っている。

【0058】

ここで購入者クライアント12からの支払76による入金情報80についてはリアルタイムであるが、サーバ10からサーバ14に対する支払いについては、例えば一週間あるいは一ヶ月というように期間ごとに入金情報を集計し、集計した入金情報から仲介手数料を差し引いた金額をサーバ14のマーケットプレイスBに支払う形式を取る。

【0059】

なお図4の仲介先のサーバ14に構築されているマーケットプレイスにおける見積回答48、受注62、出荷64、請求74などの処理は、実際にはネットワーク16を介してサーバ14のマーケットプレイスBに参加している販売企業2

0 に対しサーバ 1 4 を経由して送受信されて処理される情報となるが、ここでは説明を簡単にするため、サーバ 1 4 上に構築されたマーケットプレイスにおける処理として示している。

【 0 0 6 0 】

図 6 は、図 4 のサーバ 1 0 からの仲介依頼でサーバ 1 4 に送られる保証付き見積依頼データ 5 6 のデータ構造の説明図である。この保証付き見積依頼データ 5 6 は購入者基礎情報 4 0 と商品情報 4 2 を含み、ここに購買評価システム 2 4 で生成された保証・与信情報 4 4 が付加されている。

【 0 0 6 1 】

購入者基礎情報 4 0 は、企業基礎情報 4 0 - 1 と個人基礎情報 4 0 - 2 に分かれ、いずれか一方が送られる。また商品情報 4 2 としては項目 1 ~ 1 8 の例があり、このうち項目番号 4, 8, 1 0 ~ 1 8 は、購入者が個人の場合に使用する商品情報である。もちろん購入者が企業の場合には項目番号 1 ~ 1 8 の全てが使用される。

【 0 0 6 2 】

更に購入者基礎情報 4 0 と商品情報 4 2 に付加された保証・与信情報 4 4 は、保証情報 4 4 - 1 と外部与信情報 4 4 - 2 で構成されている。保証情報 4 4 - 1 は図 4 の購買評価システム 2 4 で作成された情報である。外部与信情報 4 4 - 2 は購入者の会員登録の際に外部の専門機関に信用調査を依頼して得られた与信情報である。この例にあっては、外部与信情報 4 4 - 2 として購入者が企業である場合を例に取っている。

【 0 0 6 3 】

この図 6 の保証付き見積依頼データ 5 6 にあっては、購入者基礎情報 4 0、商品情報 4 2 及び保証・与信情報 4 4 の全てを仲介先に送るようにしているが、本発明のサーバ 1 0 における購買評価システム 2 4 で与えた保証情報 4 4 - 1 における「保証ランク」が例えば最上位の S ランクであった場合には、購入者基礎情報 4 0 を見せることなく、商品情報 4 2 と保証情報 4 4 - 1 のみを保証付き見積依頼データ 5 6 として送り、購入者を特定可能な購入者基礎情報 4 0 や外部与信情報 4 4 - 2 は見せないようにしてもよい。

【 0 0 6 4 】

そして万が一、仲介した購入者と仲介先のマーケットプレイスとの間にトラブルが生じたときに、購入者に関する購入者基礎情報 4 0 と外部与信情報 4 4 - 2 を開示するようにしてもよい。

【 0 0 6 5 】

図 7 は、図 5 の商品検索・商品見積依頼画面 1 0 8 による商品検索及び商品見積に対する見積回答を得て行う商品購買・見積依頼画面 1 1 4 の具体例である。

【 0 0 6 6 】

この商品購買・見積依頼画面 1 1 4 にあっては、商品検索で得られた商品情報 1 1 6 が上部に表示され、その下に購買・見積依頼部 1 1 8 が設けられる。購買・見積依頼部 1 1 8 には、納品先都道府県、購入か見積かの処理区分、数量、納期などの入力枠が設けられ、必要な項目を入力して見積または注文を行うことができる。

【 0 0 6 7 】

図 8 は図 2 のサーバ 1 0 により実行されるマーケットプレイスを対象とした本発明における電子商取引のプログラムのフローチャートである。

【 0 0 6 8 】

このサーバ 1 0 で実行される電子商取引のプログラムにあっては、ステップ S 1 で購入者クライアント 1 2 による会員アクセスをチェックしており、会員登録により発行されたパスワードと I D を使用した会員アクセスを判別すると、ステップ S 2 で商品検索依頼の有無をチェックする。商品検索依頼があると、ステップ S 3 に進み、サーバ 1 0 に構築しているマーケットプレイスに参加している販売企業 1 8 を対象に商品検索処理を実行する。

【 0 0 6 9 】

この商品検索により該当商品あるいは類似商品が得られれば、ステップ S 4 で該当商品ありとして、ステップ S 5 に進み、購入者クライアント 1 2 からの見積依頼に対し購入商品の見積回答を出す見積処理を行い、続いてステップ S 6 で見積回答に対する購入者クライアント 1 2 からの購入商品の注文を受けて受注し、出荷を含む注文処理を実行する。そしてステップ S 7 で購入商品の検収・精算処

理を経て、サーバ 1 0 上に構築されたマーケットプレイス内での商取引を行う。

【 0 0 7 0 】

一方、ステップ S 4 でサーバ 1 0 に構築されたマーケットプレイスにおける商品検索では希望する商品や類似商品が見つからなかった場合には、ステップ S 8 に進み、購入者の評価処理を行って保証・与信情報を作成し、見積依頼情報に保証・与信情報を付加して、ステップ S 9 で商品検索の仲介処理を他のサーバ上のマーケットプレイスに対し依頼し、商品検索の結果をサーバ 1 0 を介して購入者クライアント 1 2 に返す。

【 0 0 7 1 】

続いて、購入者クライアント 1 2 からの商品見積の依頼をサーバ 1 4 に伝え、その見積回答を購入者クライアント 1 2 に返す処理を、ステップ S 1 0 で行う。更にステップ S 1 1 で、購入者クライアント 1 2 からの商品の注文に関する仲介処理をサーバ 1 4 に対し行う。最終的にステップ S 1 2 で納品情報に基づく購入者クライアントの検収及び精算処理を行う。

【 0 0 7 2 】

図 9 は、図 8 のサーバ 1 0 における電子商取引プログラムのステップ S 8 における購入者評価の詳細を示したフローチャートである。図 9 の購入者評価処理は、ステップ S 1 で購入者クライアント 1 2 から受け付けて格納している見積依頼ファイル 5 0 - 1 の中から購入者基礎情報を取り込み、次にステップ S 2 で、この購入者について評価実績があるか否かチェックする。ステップ S 1 では、図 8 のステップ S 1 のログイン処理時に得た情報を利用しても良い。

【 0 0 7 3 】

この購入者が初めてで過去に評価実績がなかった場合には、ステップ S 3 に進み、過去に購買実績があるか否かチェックする。この購買実績についても今回が初めてであったとすると、ステップ S 4 に進み、新規評価を生成する。この新規評価生成は、購入者基礎情報ファイル 4 0 と評価基準ファイル 3 4 を使用し、予め会員契約の際に設定した評価ランクをデフォルトとして使用して新規評価を生成する。

【 0 0 7 4 】

一方、ステップ S 3 で購買実績があった場合には、ステップ S 5 に進み、購買実績ファイル 3 0 から該当する購入者の購買実績情報を取り込む。続いてステップ S 6 で購買実績と評価基準ファイルを評価基準ファイル 3 4 に基づいて評価生成処理を実行する。

【 0 0 7 5 】

このステップ S 6 の評価生成処理の詳細は図 1 0 のフローチャートに示される。図 1 0 において、評価生成処理は、まずステップ S 1 で評価基準ファイル 3 4 から評価基準を読み込む。この実施形態にあつては、購買評価データの項目として発注キャンセル回数、発注内容変更回数、良品返品回数、支払遅延回数の 4 つを例に取っている。

【 0 0 7 6 】

ステップ S 2 は発注キャンセル回数による評価ポイントの生成であり、評価基準としてキャンセル回数に対するポイント数の評価ポイントリスト 9 6 を使用して、現在の購買実績で計数されたキャンセル回数に対応するポイント数を取得する。

【 0 0 7 7 】

次にステップ S 3 で、発注内容変更回数であれば変更回数に対するポイント数を定めた評価ポイントリスト 9 8 を参照し、現在の発注内容変更回数に対応するポイント数を取得する。

【 0 0 7 8 】

次のステップ S 4 にあつては、良品返品回数を判別し、返品回数に対するポイント数を示した評価ポイントリスト 1 0 0 を参照し、現在の良品返品回数に対応したポイント数を取得する。更にステップ S 5 で支払遅延回数であれば支払遅延回数に対するポイント数を示した評価ポイントリスト 1 0 2 を参照し、現在の支払遅延回数に対応したポイント数を取得する。

【 0 0 7 9 】

続いてステップ S 6 で、ステップ S 2 ～ S 5 で取得した 4 つの評価基準について購買実績から取得したポイント数の集計を行った評価ポイント集計リスト 1 0 4 を生成する。

【 0 0 8 0 】

最終的にステップ S 7 で評価ランクリスト 1 0 6 を参照し、評価ポイント集計リスト 1 0 4 から得られた合計ポイント数に該当する評価ランクを決定する。この評価ランクは、ポイント数が高いほど上位のランクとなり、ポイント数がマイナスに下がるほど低いランクとなる。

【 0 0 8 1 】

再び図 9 を参照するに、ステップ S 6 で評価生成が済むと、ステップ S 8 に進み、保証・与信情報を更新した後、ステップ S 9 で例えば評価ランク C か否かチェックする。評価ランクが最低ランクのランク C 以外であれば、ステップ S 1 0 に進み、他のマーケットプレイスに対し保証付きの見積依頼データを送信する。これに対し評価ランクが最低ランクのランク C であった場合には、ステップ S 1 1 で他のマーケットプレイスへの見積依頼データの送信は行わない。

【 0 0 8 2 】

また、ステップ S 2 で票か実績があった場合でも、毎回、新しい購買実績に基づき評価を生成しなおしても良いし、所定のタイミングに、評価を生成しなおしても良い。

【 0 0 8 3 】

更にステップ S 2 で既に評価実績があった場合には、ステップ S 7 で評価実績ファイル 3 2 から図 1 0 の評価ランクリスト 1 0 6 のような評価実績を取り込み、ステップ S 8 に進み、保証・与信情報を更新した後、ステップ S 9 で例えば評価ランク C が最低ランクのランク C 以外であれば、ステップ S 1 0 に進み、他のマーケットプレイスに対し保証付きの見積依頼データを送信する。

【 0 0 8 4 】

このようなマーケットプレイスを構築しているサーバ 1 0 における購買実績に基づく購買評価の自動査定によって、保証できるランクの購入者についてのみ他のサーバ上に構築されたマーケットプレイスとの見積依頼データの送信による仲介を行うため、会員登録を行っていない他のマーケットプレイスにおける仲介で生ずるトラブルを基本的になくすることができる。

【 0 0 8 5 】

図 1 1 は、本発明のマーケットプレイス間の仲介を行う電子商取引における請求から支払いまでの精算処理の他の実施形態である。図 4 の実施形態にあっては請求 7 4 に対する支払 7 6 を会員登録しているサーバ 1 0 のマーケットプレイスに対して行っているが、図 1 1 の実施形態にあっては、他のマーケットプレイスのサーバ 1 4 からの請求 7 4 をサーバ 1 0 から購入者クライアント 1 2 に送り、この請求 7 4 に対する支払 7 6 を、この実施形態にあっては仲介先となるマーケットプレイスのサーバ 1 4 に対し行って入金情報 8 2 を送っている。

【0086】

このため、仲介先のマーケットプレイスであるサーバ 1 4 にあっては、購入者クライアント 1 2 からの入金情報 8 2 に基づき、仲介費用を仲介元のマーケットプレイスであるサーバ 1 0 に入金情報 8 4 として送るようにしている。

【0087】

図 1 2 はクレジット会社を利用した請求と支払いの説明図である。このクレジット会社を使用した支払いは、主に購入者が個人の場合に使用する。

【0088】

図 1 2 において、仲介先のマーケットプレイスを構築しているサーバ 1 4 からの請求 7 4 はクレジット会社マシン 8 6 に対し行われ、クレジット会社マシン 8 6 から仲介を行ったマーケットプレイスのサーバ 1 0 に対し支払いが行われ、その入金情報 8 8 が与えられる。

【0089】

この入金情報 8 8 を受けたサーバ 1 0 は、例えば 1 ヶ月ごとに集計し、仲介費用を差し引いた金額をサーバ 1 4 側のマーケットプレイスに支払った後、入金情報 9 0 を送る。

【0090】

一方、クレジット会社マシン 8 6 にあっては、購入者クライアント 1 2 側に対し請求 9 2 を行い、これに対し購入者にあっては、引落し B 口座に対する支払 9 4 を行う。クレジット会社マシン 8 6 と購入者クライアント 1 2 の請求 9 2 と支払 9 4 は、オンラインによらず通常の銀行取引の形態で行われることはもちろんである。

【0091】

次に本発明のマーケットプレイスを対象とした電子商取引を格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体の実施形態を説明する。

【0092】

図2に示したマーケットプレイス用のサーバ10は、コンピュータシステムであり、CPU、RAM、ROM、ハードディスクドライブHDD、CD-ROMドライブ、FDドライブ、キーボード、マウス、ディスプレイを接続するI/Oインタフェース、LANインタフェース、モデムなどを備えている。

【0093】

本発明の電子商取引プログラムは、CD-ROM、フロッピーディスク、DVDディスク、光磁気ディスク、ICカードなどの可搬型記憶媒体、モデム及びLANインタフェースを利用し回線を介して接続されたデータベース、あるいは他のコンピュータシステムのデータベースに格納され、サーバ10を構成するコンピュータにインストールされた後に実行される。

【0094】

また記録媒体としてはCD-ROM、光磁気ディスク、ICカードなどの可搬型記憶媒体以外に、コンピュータの内外に備えられたハードディスクHDDなどの記憶装置の他、回線を介してプログラムを保持するデータベースあるいは他のコンピュータシステム並びにそのデータベースや、更に回線上の伝送媒体を含むものである。

【0095】

なお本発明は、その目的と利点を損なうことのない適宜の変形を含む。また上記の実施形態に示した数値による限定は受けない。

【0096】

(付記)

(付記1)

契約会員である企業又は個人の購入者がマーケットプレイスに参加して商品購入の商取引を依頼した依頼を受付ける依頼受付ステップと、
前記マーケットプレイスで購入希望商品が得られない場合、仲介契約を行って

る他のマーケットプレイスに前記購入者に信用保証を付して前記商品購入の商取引を依頼する仲介ステップと、

を備えたことを特徴とする電子商取引方法。(1)

【0097】

(付記2)

付記1記載の電子商取引方法に於いて、前記仲介ステップは、自己のマーケットプレイスにおける購入者の購買履歴に基づいて信用調査を行い、所定の評価基準を満たす場合に、信用保証情報と共に前記商品購入の商取引を他のマーケットプレイスに依頼することを特徴とする電子商取引方法。(2)

【0098】

(付記3)

付記2記載の電子商取引方法に於いて、前記仲介ステップは、自己のマーケットプレイスにおける購入者の発注キャンセル数、発注内容変更回数、良品返品回数、支払遅延回数を含む複数の項目に基づいて評価を行って信用保証の有無を決定することを特徴とする電子商取引方法。

【0099】

(付記4)

付記3記載の電子商取引方法に於いて、前記仲介ステップは、前記購入者の各評価項目に評価基準を設定し、前記評価基準を満たした場合にプラスポイントを付加し、前記評価基準を満たさなかった場合にマイナスポイントを付加し、各項目の合計ポイントに基づいて信用保証の有無を決定することを特徴とする電子商取引方法。

【0100】

(付記5)

付記1記載の電子商取引方法に於いて、前記仲介ステップは、他のマーケットプレイスに商取引を依頼した場合、購入者とのマーケットプレイスの間で行われる購入商品の見積と回答、注文と出荷を含む取引情報を自己のマーケットプレイスとの商取引として購買者に見せることを特徴とする電子商取引方法。

【0101】

(付記 6)

付記 1 記載の電子商取引方法に於いて、前記仲介ステップは、他のマーケットプレイスに依頼した商取引が成立して完了した場合、購入者に対し自己のマーケットプレイスを支払先とする請求を行い、商取引が成立した他のマーケットプレイスに対しては所定の期間単位で購入代金から仲介費用を差し引いた代金を清算することを特徴とする電子商取引方法。

【 0 1 0 2 】

(付記 7)

付記 1 記載の電子商取引方法に於いて、前記仲介ステップは、他のマーケットプレイスに依頼した商取引が成立して完了した場合、購入者に対し他のマーケットプレイスを支払先とする請求を行い、商取引が成立した他のマーケットプレイスに対し仲介費用を請求することを特徴とする電子商取引方法。

【 0 1 0 3 】

(付記 8)

付記 1 記載の電子商取引方法に於いて、前記仲介ステップは、他のマーケットプレイスに仲介した商取引の購入者が不正取引を行った場合、他のマーケットプレイスに対し前記購買者の情報を開示することを特徴とする電子商取引方法。

【 0 1 0 4 】

(付記 9)

電子商取引を行うマーケットプレイスのコンピュータに、
契約会員である企業又は個人の購入者がマーケットプレイスに参加して依頼した商品購入の商取引を受付ける依頼受付ステップと、
自己のマーケットプレイスで購入希望商品が得られない場合、仲介契約を行っている他のマーケットプレイスに前記購入者に信用保証を付して前記商品購入の商取引を依頼する仲介ステップと、
を実行させることを特徴とするプログラム。(3)

【 0 1 0 5 】

(付記 1 0)

電子商取引を行うマーケットプレイスのコンピュータに、

契約会員である企業又は個人の購入者がマーケットプレイスに参加して依頼した商品購入の商取引を受付ける依頼受付ステップと、

自己のマーケットプレイスで購入希望商品が得られない場合、仲介契約を行っている他のマーケットプレイスに前記購入者に信用保証を付して前記商品購入の商取引を依頼する仲介ステップと、

を実行させるプログラムを格納したコンピュータ読取可能な記録媒体。(4)

【0106】

(付記11)

電子商取引用サーバに於いて、

契約会員である企業又は個人の購入者がマーケットプレイスに参加して依頼した商品購入の商取引を受付ける依頼受付部と、

自己のマーケットプレイスで購入希望商品が得られない場合、仲介契約を行っている他のマーケットプレイスに前記購入者に信用保証を付して前記商品購入の商取引を依頼する仲介処理部と、

を備えたことを特徴とする電子商取引用サーバ。(5)

【0107】

【発明の効果】

以上説明してきたように本発明によれば、購入者は会員登録しているマーケットプレイスで商品が見つからなかったり、希望している購入条件が見つからなかった場合でも、マーケットプレイス側で購入者の購買や支払状況などの履歴に基づいた保証を付すことにより、購入者が会員登録していない他のマーケットプレイスに対し購入者の検索、見積、注文を行って購入者の希望する商品や希望する購入条件に適切に対応することができる。

【0108】

このため、1つのマーケットプレイスでは対応できないような商品であっても、他のマーケットプレイスとの提携によって購入者に新たなマーケットプレイスとの契約などといった負担をかけることなく簡単な仕組みで購入商品の取引を実現することができ、マーケットプレイスにとっては自分の会員に対する取引サー

ビスの質を向上できることで利用者の囲い込みを実現することができる。

【0109】

また購入者の取引仲介を受けた他のマーケットプレイスにあっては、既存の契約会員である購入者以外に、仲介取引によってスポット的に取引が発生し、これによって取引数が増加し、マーケットプレイスの販売実績を引き上げることができる。

【0110】

更に仲介取引を受けた他のマーケットプレイスにあっては、仲介元のマーケットプレイスにおける購買実績から仲介を行っている購入者について保証が行われているため、会員登録を行っていない購入者であっても、購入者に対し与信調査などを必要とせず、不払いなどのリスクを回避したスポット取引が実現できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の原理説明図

【図2】

本発明が適用されるマーケットプレイスを対象とした電子商取引システムの説明図

【図3】

本発明の電子商取引の前提となるマーケットプレイス間の契約関係の説明図

【図4】

他のマーケットプレイスに仲介を依頼する本発明の電子商取引の処理手順の説明図

【図5】

本発明で使用する商品検索・商品見積依頼画面の説明図

【図6】

他のマーケットプレイスに仲介を依頼する保証つき見積依頼データの説明図

【図7】

本発明で使用する商品購買・見積依頼画面の説明図

【図 8】

本発明のマーケットプレイスを対象とした電子商取引を実行するプログラムのフローチャート

【図 9】

図 8 のプログラムの中の購入者評価処理を詳細を示したフローチャート

【図 1 0】

図 9 のプログラムの中の評価生成の詳細を示したフローチャート

【図 1 1】

本発明の電子商取引における他の請求支払処理の説明図

【図 1 2】

クレジット会社を利用した本発明の電子商取引における請求支払処理の説明図

【符号の説明】

- 1 0 : マーケットプレイス A 用サーバ
- 1 1 - 1 : 会員契約
- 1 1 - 2 ~ 1 1 - 4 : 仲介契約
- 1 2 : 購入者クライアント
- 1 4 : マーケットプレイス用サーバ (仲介依頼先)
- 1 6 : ネットワーク
- 1 8 , 2 0 : 販売企業マシン
- 2 2 : 見積依頼制御部
- 2 4 : 購買評価システム
- 2 5 : 購買評価データ生成部
- 2 6 : 購買評価部
- 2 8 : 保証・与信データ生成部
- 3 0 : 購買実績ファイル
- 3 2 : 評価実績ファイル
- 3 4 : 評価基準ファイル
- 3 6 : 見積依頼データ生成部

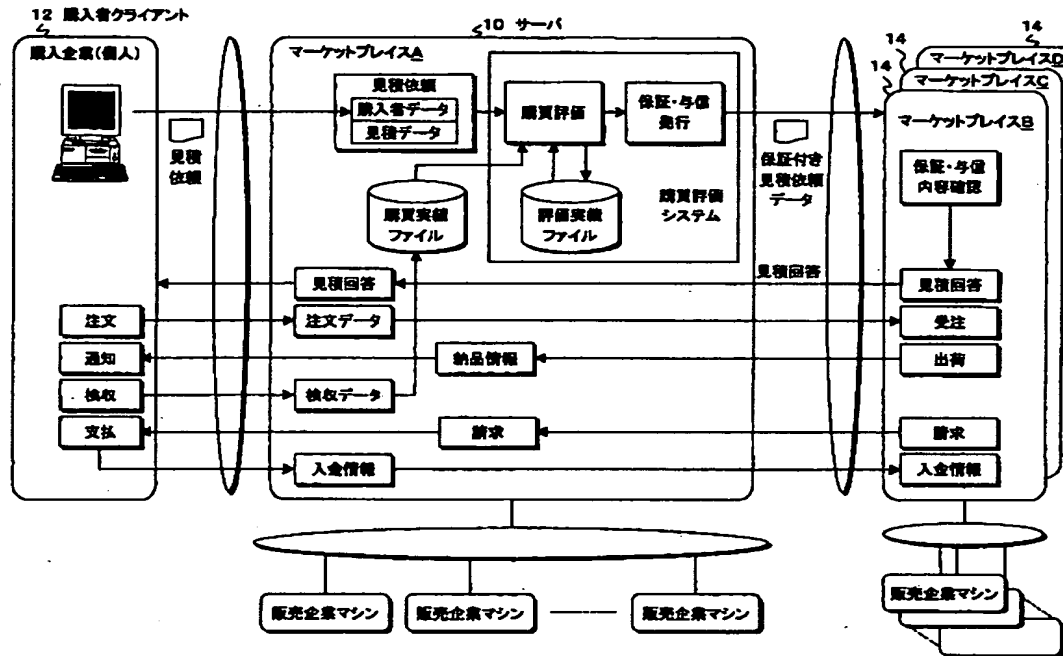
- 3 8 : データ送受信部
- 4 0 : 購入者基礎情報
- 4 0 - 1 : 購入者基礎情報ファイル
- 4 4 : 保証・与信情報
- 5 0 : 見積情報
- 5 0 - 1 : 見積依頼ファイル
- 5 6 : 保証付き見積依頼データ

【書類名】 図面

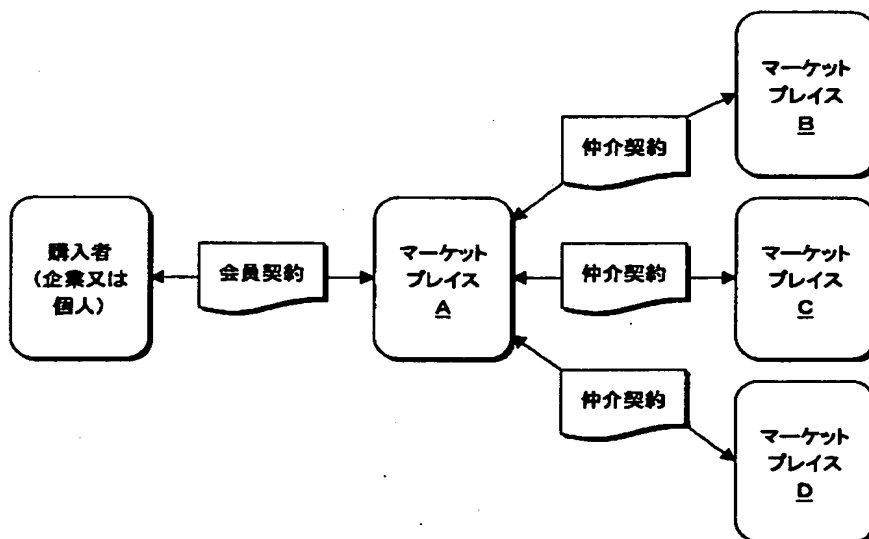
【図 1】

本発明の原理説明図

(A)

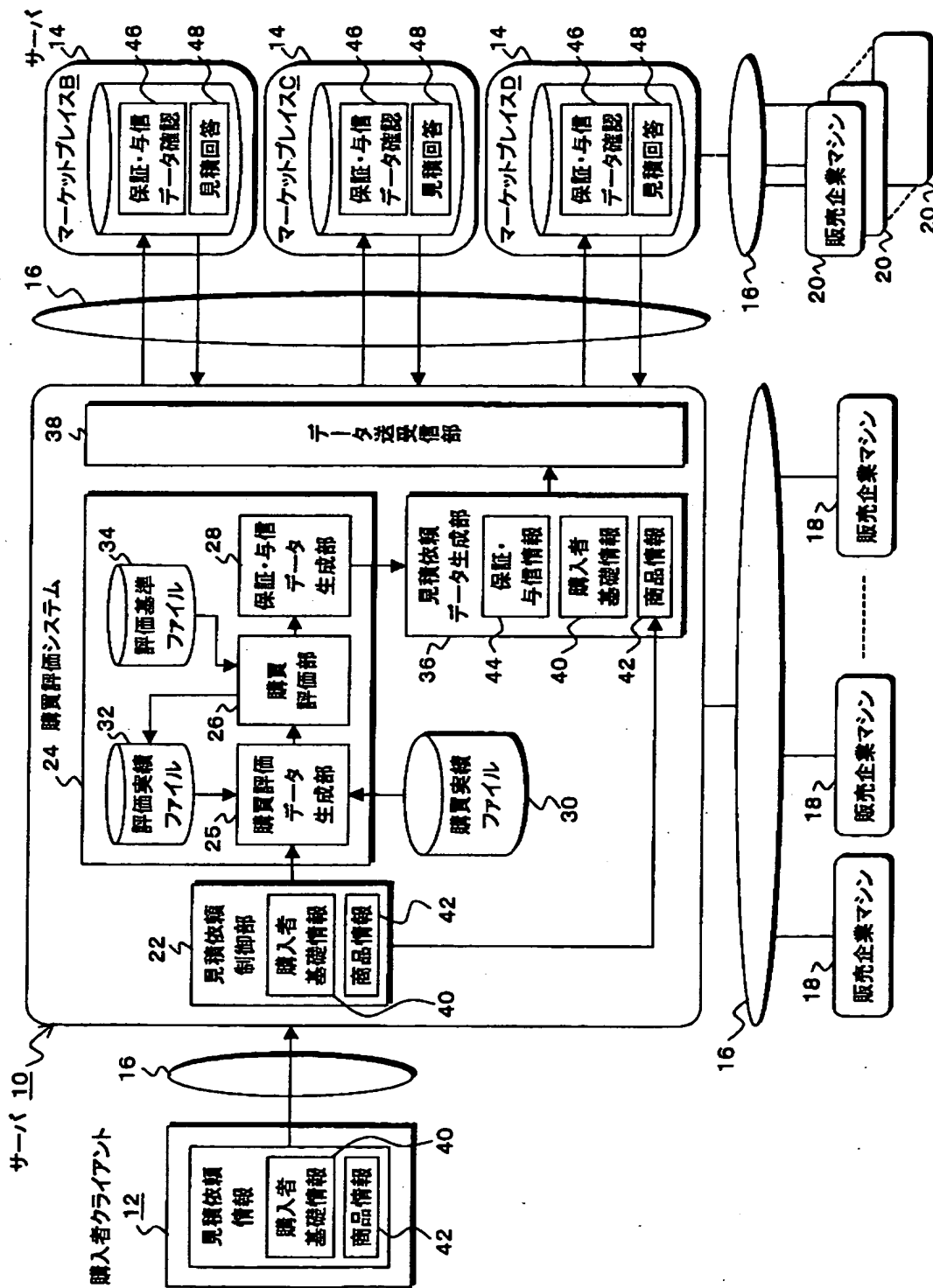


(B)



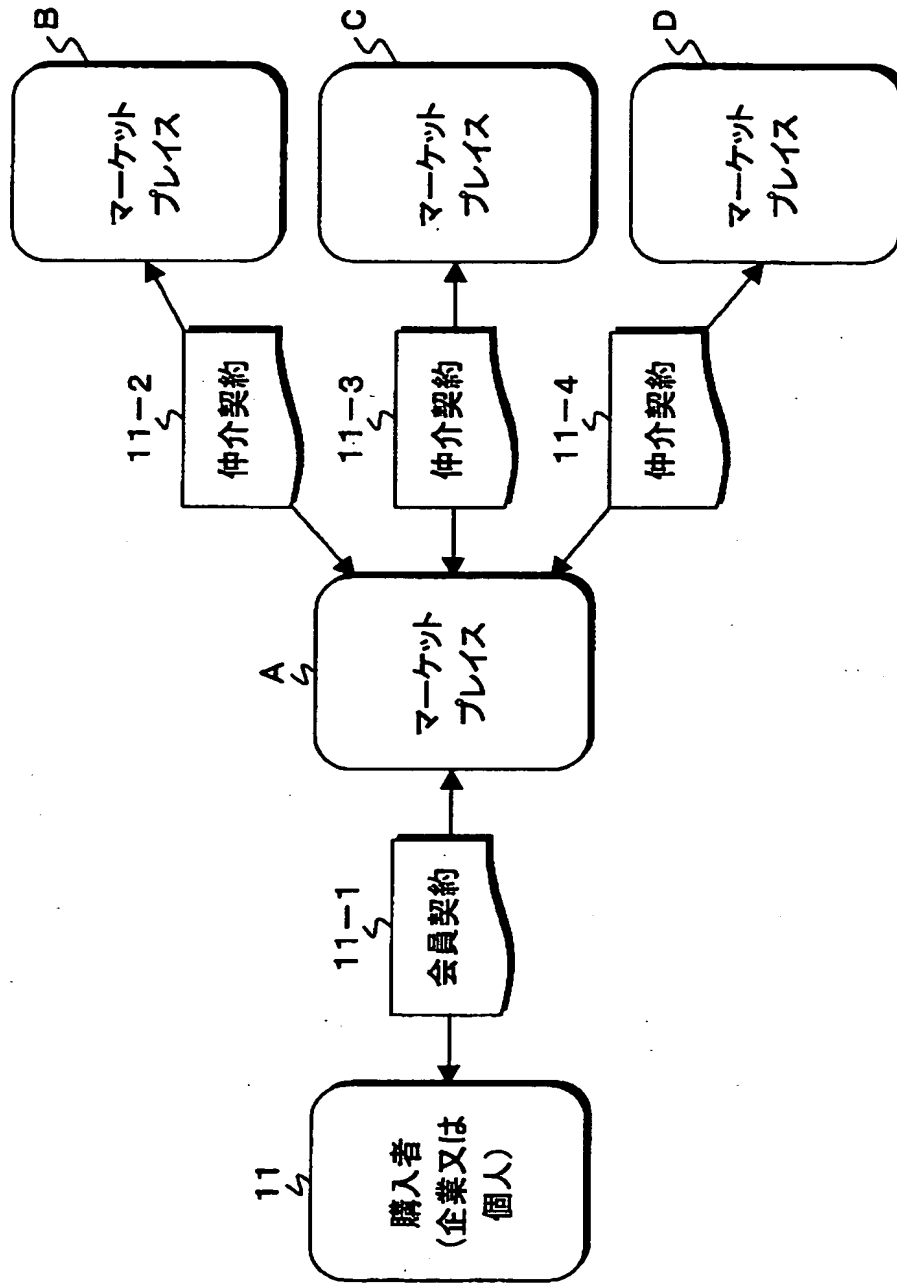
【図 2】

本発明が適用されるマーケットプレイスを対象とした電子商取引システムの説明図



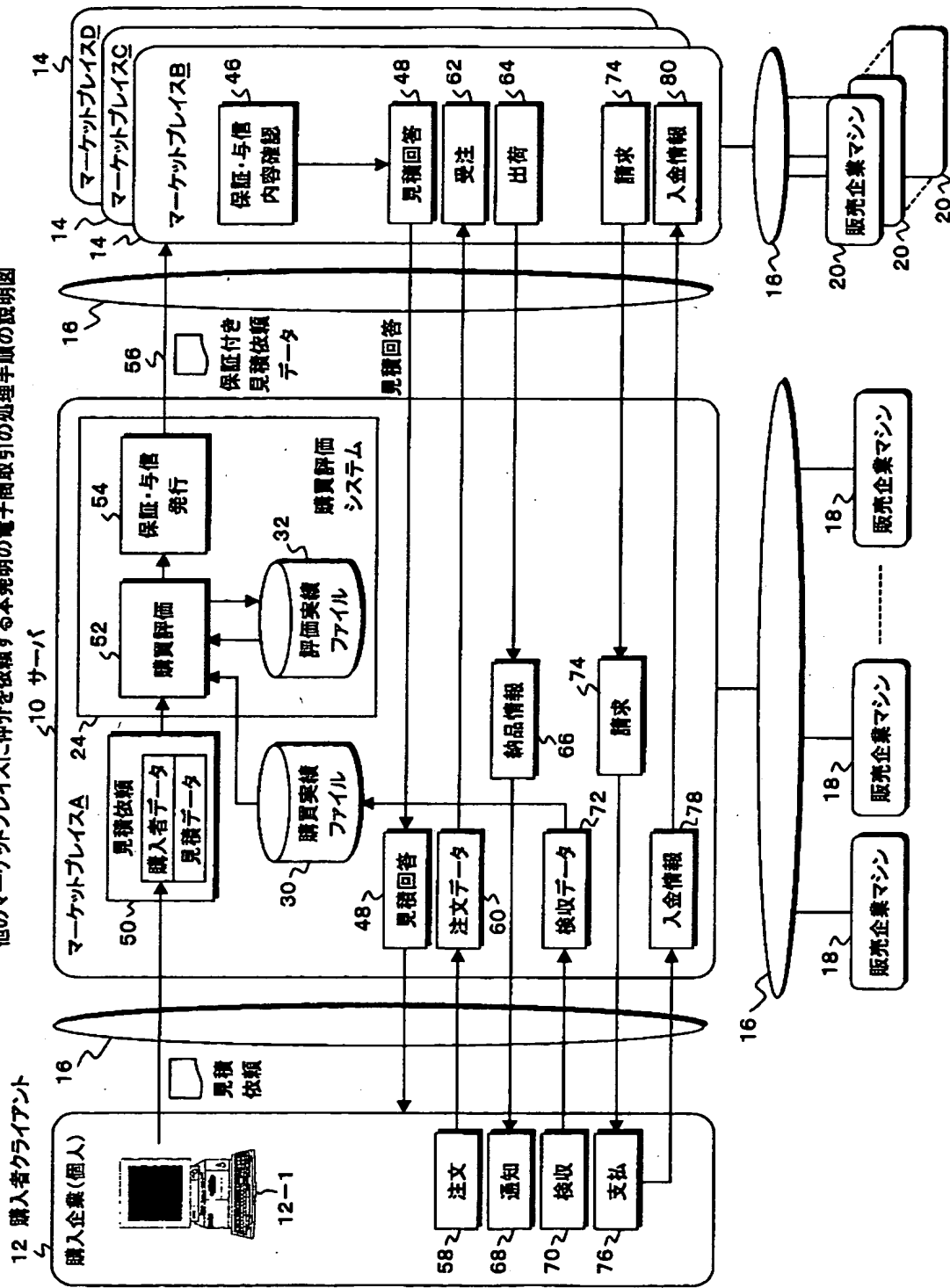
【図 3】

本発明の電子商取引の前提となるマーケットプレイス間の契約関係の説明図



【図 4】

他のマーケットプレイスに仲介を依頼する本発明の電子商取引の処理手順の説明図



【図 5】

本発明で使用する商品検索・商品見積依頼画面の説明図

108
110
112

＜TOP＞

- 商品検索
- 商品見積
- 商品登録
- 商品削除
- 商品更新
- 商品検索履歴
- 商品見積履歴
- 商品登録履歴
- 商品削除履歴
- 商品更新履歴

B2B Edition

商品検索・商品見積依頼画面

商品検索 (目的の商品を以下の条件で絞り込んで下さい。)

カテゴリ

商品名

販売企業名

メーカー名

商品番号

検索条件

検索条件

検索条件

検索条件

検索条件

検索結果

指定の条件での検索結果は 16 件です。以下に商品一覧を表示します。

品目コード	品名	登録日
A200100001	OAサブライバディ IMCデイズ	2000/06/26
A200100002	OAサブライバディ IMCデイズ	2000/06/26

【図 6】

他のマーケットプレイスに仲介を依頼する保証つき見積依頼データの説明図

購入者基礎情報		保証・与信情報		商品情報
40	40-1 企業基礎情報	44 44-1	42	※個人
	40-2 個人基礎情報	44-2		
1. 企業コード		1. 評価ランク	1. 費用コード	
2. 企業名		2. 過去5回評価ランク	2. 負担元所屬コード	
3. 企業種別		3. 評価ポイント別累計	3. 負担元所屬名	
4. 所在地・連絡先		・発注キャンセル	4. 伝票番号※	
5. 利用開始日		・発注変更	5. 申請者所屬コード	
6. 利用終了日		・返品	6. 申請者所屬名	
7. 更新日		・支払遅延	7. 申請者社員番号	
8. 振込先銀行名、コード			8. 申請者氏名※	
9. 振込先口座番号等			9. 申請者内線番号	
10. 支払いサイトコード			10. 品目コード※	
1. 氏名		1. 外部与信情報	11. 商品名※	
2. 職業(勤務先)		・商号	12. メーカー名※	
3. クレジットカード番号		・所在地	13. 商品番号※	
4. 所在地・連絡先		・電話番号	14. 依頼数量※	
5. 利用開始日		・業種	15. 単価※	
6. 利用終了日		・従業員数	16. 納入場所・連絡先※	
7. 更新日		・売上高	17. 支払区分※	
		・利益	18. 見積回答期限※	
		・取引先		
		・評点 等		

【図 7】

本発明で使用する商品購買・見積依頼画面の説明図

B2B Edition

URL: http://supplymart.sony.com/jp/office/amao/supplymart/catalog_R130_amao.htm

商品名: 3000mAh デジタルカメラ

商品コード : AQ00100001

メーカー名 : 富士通フロンティア

商品番号 : 0242810

商品カテゴリ : OAサブライマディ7 | MOデバイス

販売単位 : 6枚

メーカー標準価格 : オープン価格

税区分 : 課税対象

セールのポイント : 新技術MSR方式の採用で高感度化を實現。世界初、新技術QD-AMC対応大容量1.3GB MO。

商品カテゴリ : なし

納入依頼伝票番号 : なし

納期目安 : 35日以内

納期 : 2000/08/25

納品先・見積依頼

納品先番通番 :

処理区分 : 納入 見積

数量 : 単位

納期 : 日以内

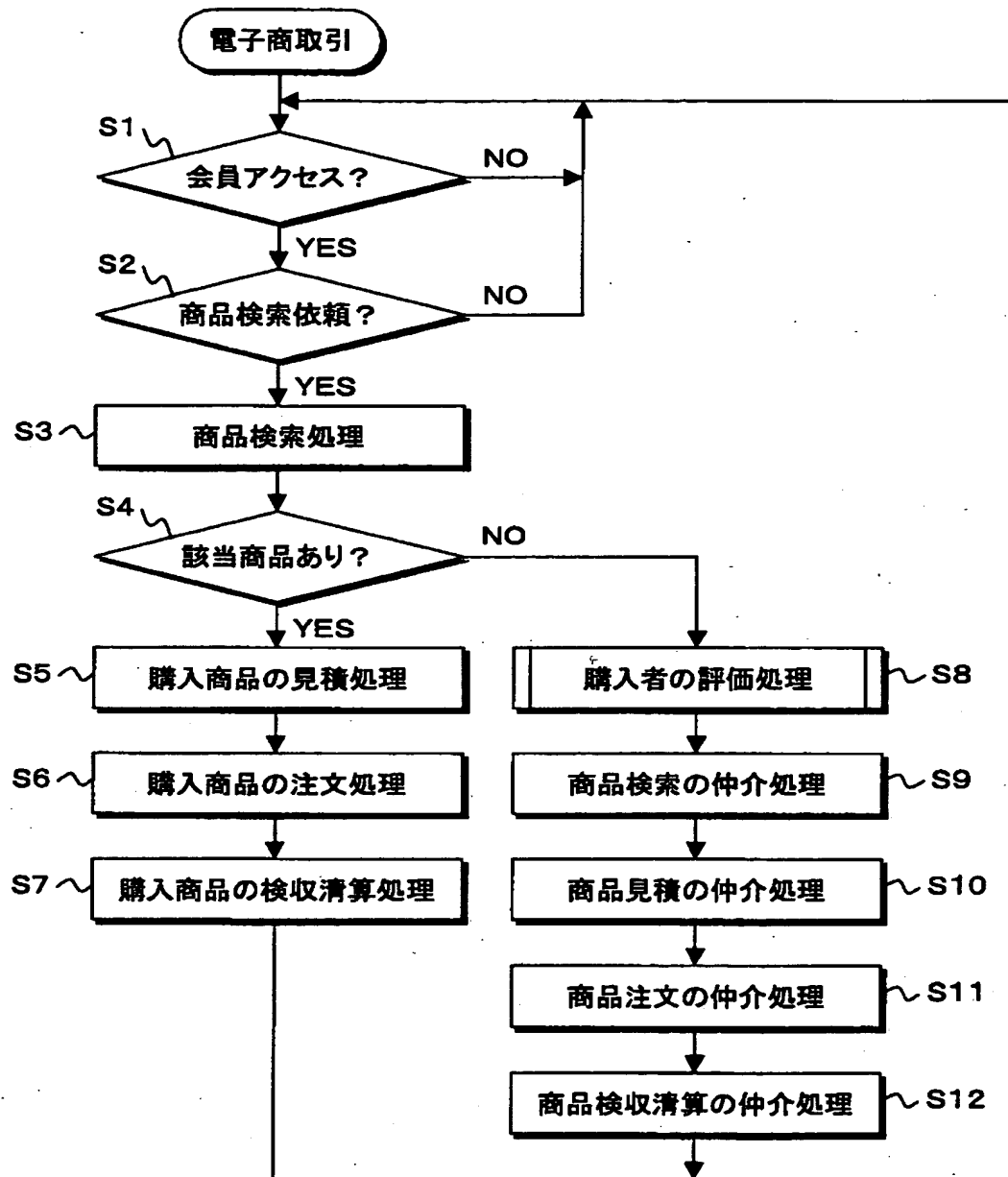
商品名と数量、依頼ボタンをクリックしてください。

伝票番号: 12345

納入者氏名: 〇〇 〇〇

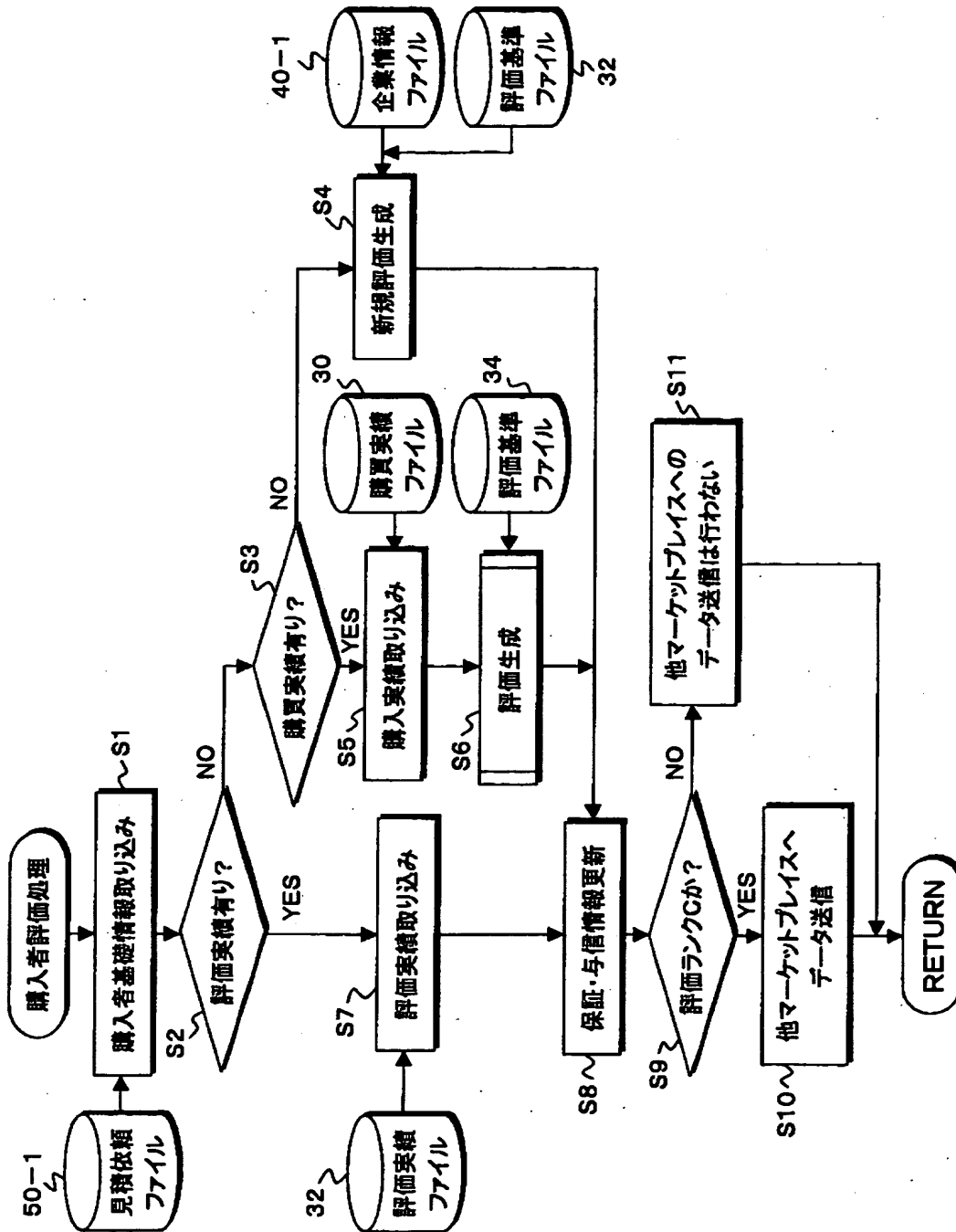
【図 8】

本発明のマーケットプレイス電子商取引を実行するプログラムのフローチャート



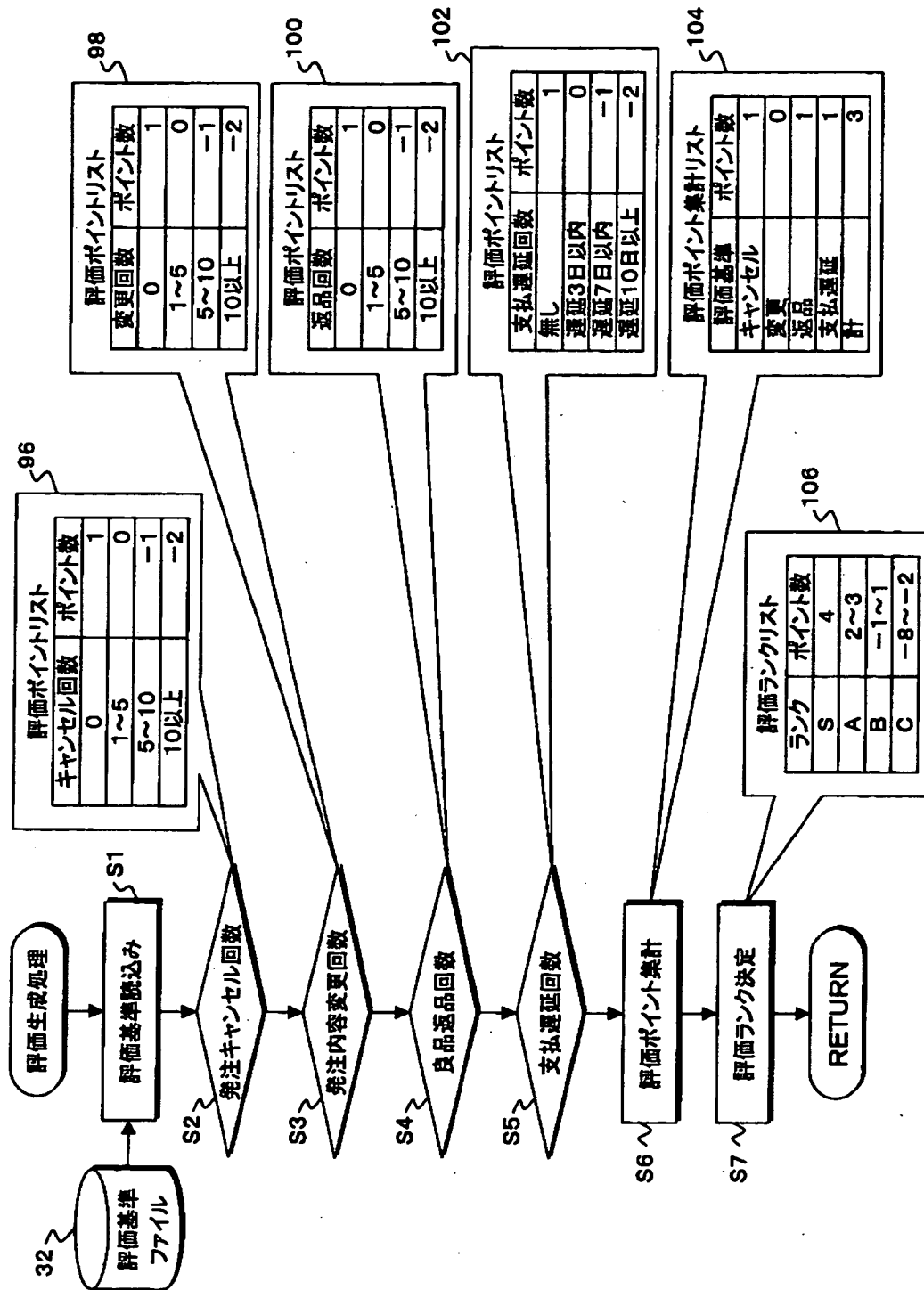
【図9】

図8のプログラムの中の購入者評価処理の詳細を示したフローチャート



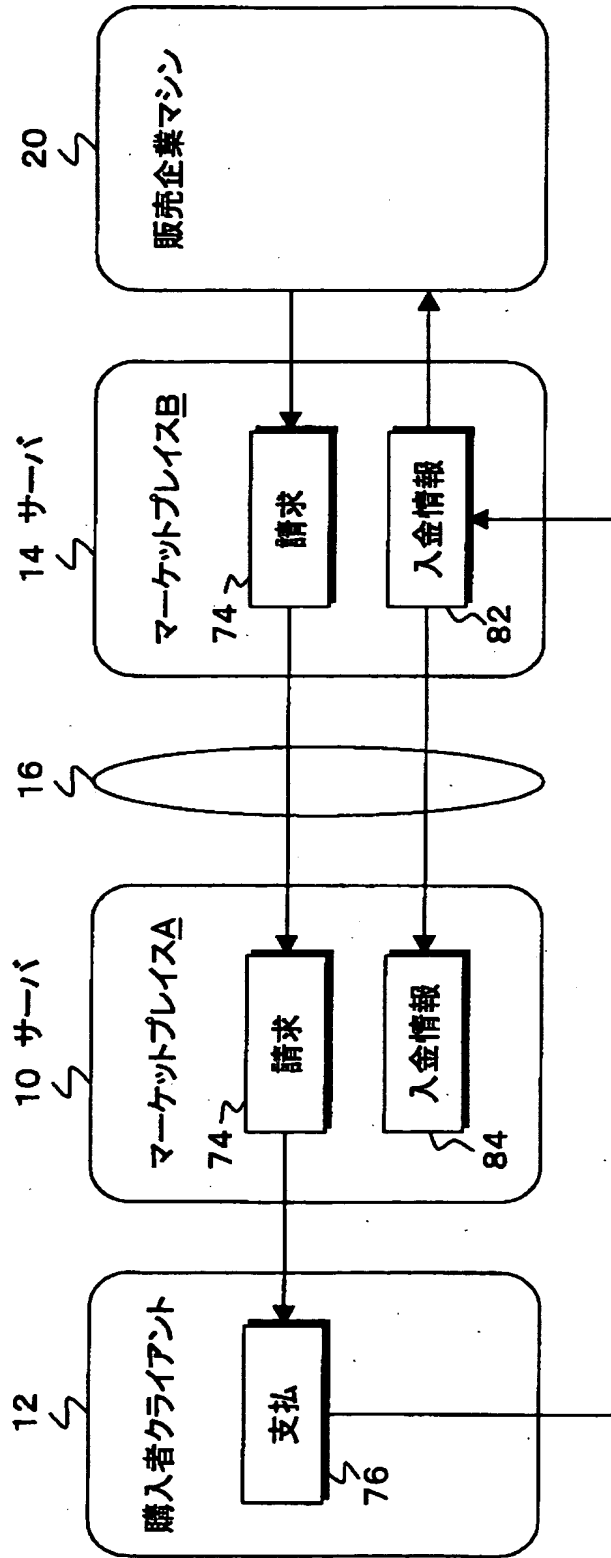
【図10】

図9のプログラムの中の評価生成の詳細を示したフローチャート



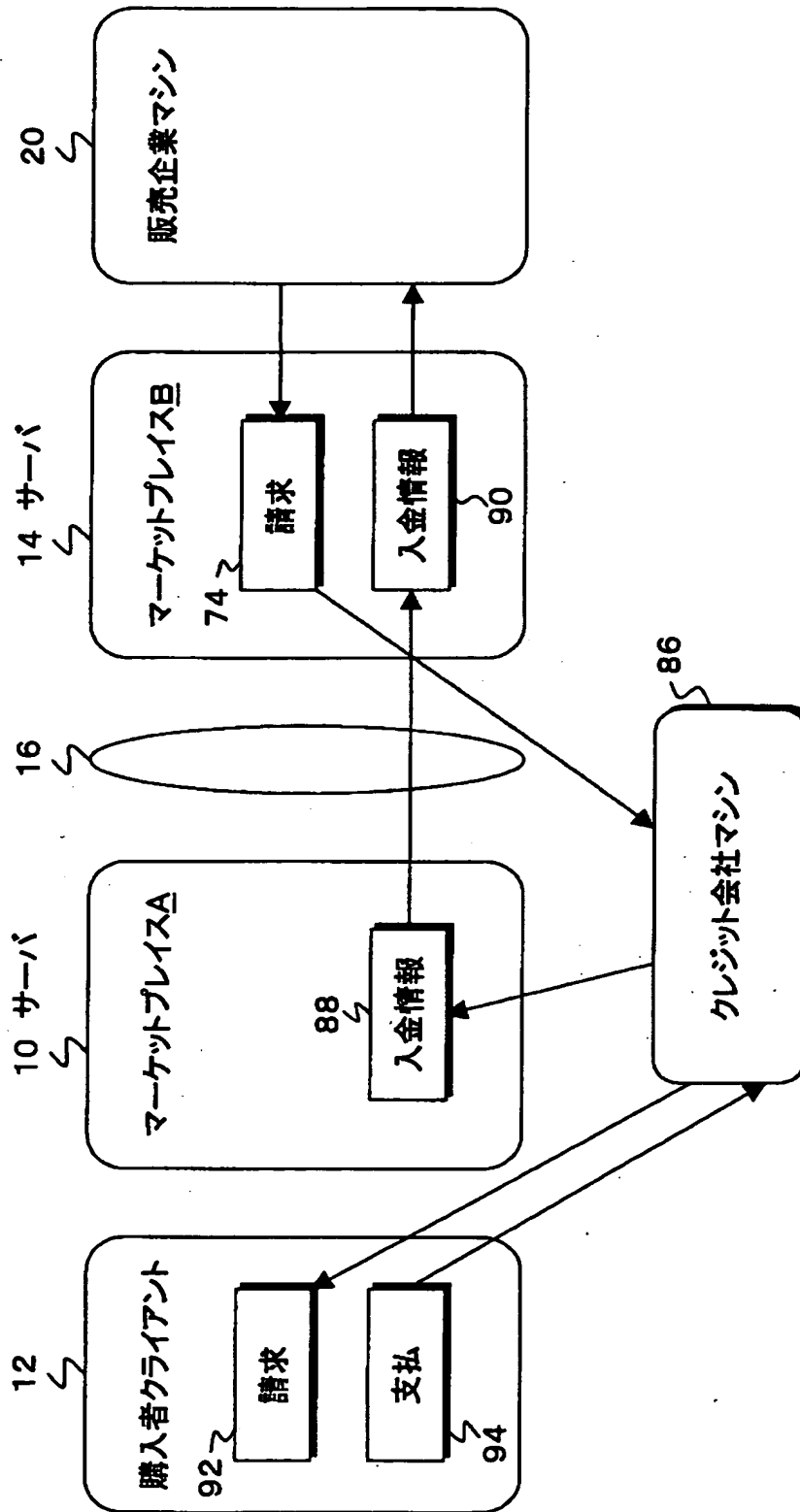
【図 11】

本発明の電子商取引における他の請求支払処理の説明図



【図 12】

クレジット会社を利用した本発明の電子商取引における請求支払処理の説明図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 会員登録しているマーケットプレイスで商品が見つからない場合、簡単に会員未登録のマーケットプレイスであっても利用可能とする。

【解決手段】 契約会員である企業又は個人の購入者クライアント12がサーバ10に構築されたマーケットプレイスAに参加して商品購入の商取引を依頼する。マーケットプレイスAで購入希望商品が得られない場合、サーバ10は仲介契約を行っている他のマーケットプレイスBのサーバ14に購入者に信用保証を付して商品購入の商取引を依頼する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日
[変更理由] 住所変更
住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名 富士通株式会社